



特定非営利活動法人
富山県防災士会会報
(NPO 法人日本防災士会・富山県支部)

第21号

平成30年7月1日
発行 富山県防災士会
連絡先 090-9762-8267
(事務局長：佐伯)

特定非営利活動法人富山県防災士会
通常総会開催
～さらなるステージへの出発点として～



小杉理事長

平成30年度の通常総会が4月30日、富山県民会館において開催されました。

出席者は参加者59名、委任状提出者71名の計130名です。はじめに小杉理事長より、富山県防災士会の特定非営利活動法人（NPO法人）化に向けて、昨年11月の臨時総会での決定を踏まえて県へ申請し、今年1月4日に認証を受けたこと。また、NPO法人とした経緯と10年間の実績をもとに、さらなるステージへの出発点として、自治体、関係機関等と密接な関係を築いて地域防災力の向上、防災減災協働社会の実現に向けて貢献しなければならないと挨拶がありました。

また、昨年の熊本地震の教訓を基に富山県の災害受援計画の検討会が開催され、避難所の開設や運営にかかわって、防災士や自主防災会リーダーの役割が重要であり、防災士会として災害時にどうあるべきか仕組み作りを進めること、また、富山県防災士会が開かれた組織として持続的な事業ができるよう組織を明確化し、運営の透明性の確保と情報発信を積極的に進めていくとの表明がありました。

顧問である竹内章富山大学名誉教授の挨拶では、2月の富山県の防災会議では、隣県石川県の活断層（呂知瀧断層帯、森本・富樫断層帯）地震による県内の被害想定では、県西部の地震被害想定は呉羽山断層地震と変わらない規模の被害を受けることが明かとなり、県としても



竹内名誉教授

積極的な対応、施策を図る旨の説明があったこと。また防災対策では、地震、津波や洪水その他原子力災害等の個別の災害に対する地域防災

計画の施策が定められているが、複合的な災害が起き、色々な条件が重なり災害の規模が大きくなっている事例が多々あることから、地域の防災力向上では、国土強靱化という言葉で示されているように個別的な対応ではなくトータルに物事を考える視点の大切さについて指摘がありました。

総会は、定款に基づいて、議長に三井防災士、議事録署名人に佐藤・古川防災士を選任し議事進行が行われました。

平成29年度事業報告及び決算並びに監査報告、平成30年度事業計画及び予算、会員規約、災害時活動指針について提案どおり承認されました。また、富山県防災士会の役割やロゴ等の使用については理事会に一任され、以降検討し日本防災士会と確認の上周知をおこなうことで総会は終了しました。（記 佐々木）

第1回スキルアップ研修会を開催



野田副理事長

5月20日、平成30年度第1回スキルアップ研修会が、サンシップとやまで開催されました。

野田副理事長が講師を担当。テーマは地表断層が石川県内にある呂知瀧断層帯、森本・富樫断層帯と砺波平野断層帯西部の富山県内の地震発生時の被害想定

の考察についてです。特に呂知瀧断層帯地震では、石川県の想定と合わせてみると、呉羽山断層帯地震に匹敵する強烈な死者想定数であることが分かりました。ワークショップでは地震発生確率を含む地域特性の表を実際に作成し、地区防災計画策定にそれを有効利用することが可能であるとの説明がありました。防災士として地域特性を判断するにはJ-SHIS MAPや国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所の「かわの情報」での浸水想定図を読むことが重要であるとの結論でした。最後に会場の参加防災士に対してこれからの活動について等のアンケートがありました。（記 関）

会 員
自己紹介

防災士 口岩 俊 (朝日町)

自治会役員
になった平成
19年には能登



半島地震が、翌年2月には朝日町で寄り回り波が発生し、高波による超波や県道の崩落、海水の河川遡上がおきました。その体験が契機になって、平成20年10月に大阪市で開催された防災士研修講座を受講し防災士の認証を得、以降の朝日町防災訓練等で地域の方々に災害への啓発、減災をよびかけています。また、私の住む地区では、イノシシ等の有害鳥獣被害も多いことから、わな猟免許を取得し、被害対策捕獲隊の一員として、イノシシ、熊、サル、カラス等の捕獲も行っています。この活動を続けていると、早寝早起きが習慣づけられたこともあり、体も調子がよくなりました。檻(箱わな)の周辺の足跡や、えさの食べ具合を見て自分なりの仕掛けを工夫し、喜んだり、なにくそと再挑戦を行うなどの知恵比べも魅力のひとつです。災害への対応も有害鳥獣対策も、地域の安全を守るためにはかかせないものだと思っています。「なぜ、何のために」という問いを自分に言い聞かせながら、活動に取り組んでいきたいと思えます。

富山県防災士会
第3回スキルアップ研修会のお知らせ

スキルアップ研修会は、富山県防災士会会員にむけて行う主体的な研修講座で、今年のテーマは、「避難」「協働」「最強の防災組織とは」等です。できるだけワークショップの方法をとりながら、よりクリエイティブに新しい視点からの研修を行います。

■ 開催：7月7日(土) 13:30~16:30
サンシップとやま 601 研修室

○内容

1. ショートレクチャー数題
2. タイムラインの考え方をういた新しい図上訓練 (大規模風水害事前行動計画策定ワークショップ)
3. 糸魚川大規模火災 など (変更の可能性あり)



今回の研修では平成29年九州北部豪雨の事例も参考にします。

(上記写真は日本防災士会からの提供)

■第4回研修会の日程が決まりました。
9月15日(土) 13:30~ サンシップとやま
詳細は後日ご案内いたします。

平成30年度 県市町村総合防災訓練(予定)

朝日町	8月25日(土)	朝日町消防署	
南砺市	8月26日(日)	福光中学校	
黒部市	8月26日(日)	前沢地区	
富山県	高岡市	9月2日(日)	竹平記念体育館・国吉小中学校・防災センター
	氷見市		運動公園・中央町・湖南小学校会場
	射水市		作道小学校・海王丸パーク・グリーンピア射水会場
砺波市	9月2日(日)	太田体育館・庄下・中野	
魚津市	9月23日(日)	加積地区 片貝・道下・経田・天神・西布施	
小矢部市	9月23日(日)	屋内スポーツセンター	
富山市	9月29日(土)	八尾地区	

6月15日時点で富山県防災士会に参加要請のあった市町村です。会員のご協力をお願いいたします。

Topics

会員の活動から

富山市稲荷町1丁目自主防災会で
DIGを実施! (4月22日)



稲荷1丁目町内会は、小規模ではあるが、町内会長・自主防災会隊長とも防災意識が高く且つ、熱心で真剣に防災に対して取り組みがなされていた。

今回の参加者18名中13名が女性で、しかも若い女性・中年女性・高齢者の女性と巾が広く、かつ他の地域にない事前呼びかけがなされていた。女性の防災意識が、子どもから地域の大人へと繋がると自主防災会隊長が話されていた。(記 土代)



★★ 会員の活動をお知らせください ★★

普段行われている皆様の活動を、日本防災士会富山県支部掲示板 (<https://6129.teacup.com/bousaisikai/bbs>) に投稿をお願いいたします。この掲示板には要請のある防災講座のほか、講演会等の情報も掲載されています。ぜひご活用をお願いいたします。